しんかい6500のひみつ新聞

みのわ小学校
2年
させ公しろう

しんかい6500のしくみ

日本がほこる
ゆう人せん水ちょうさせん

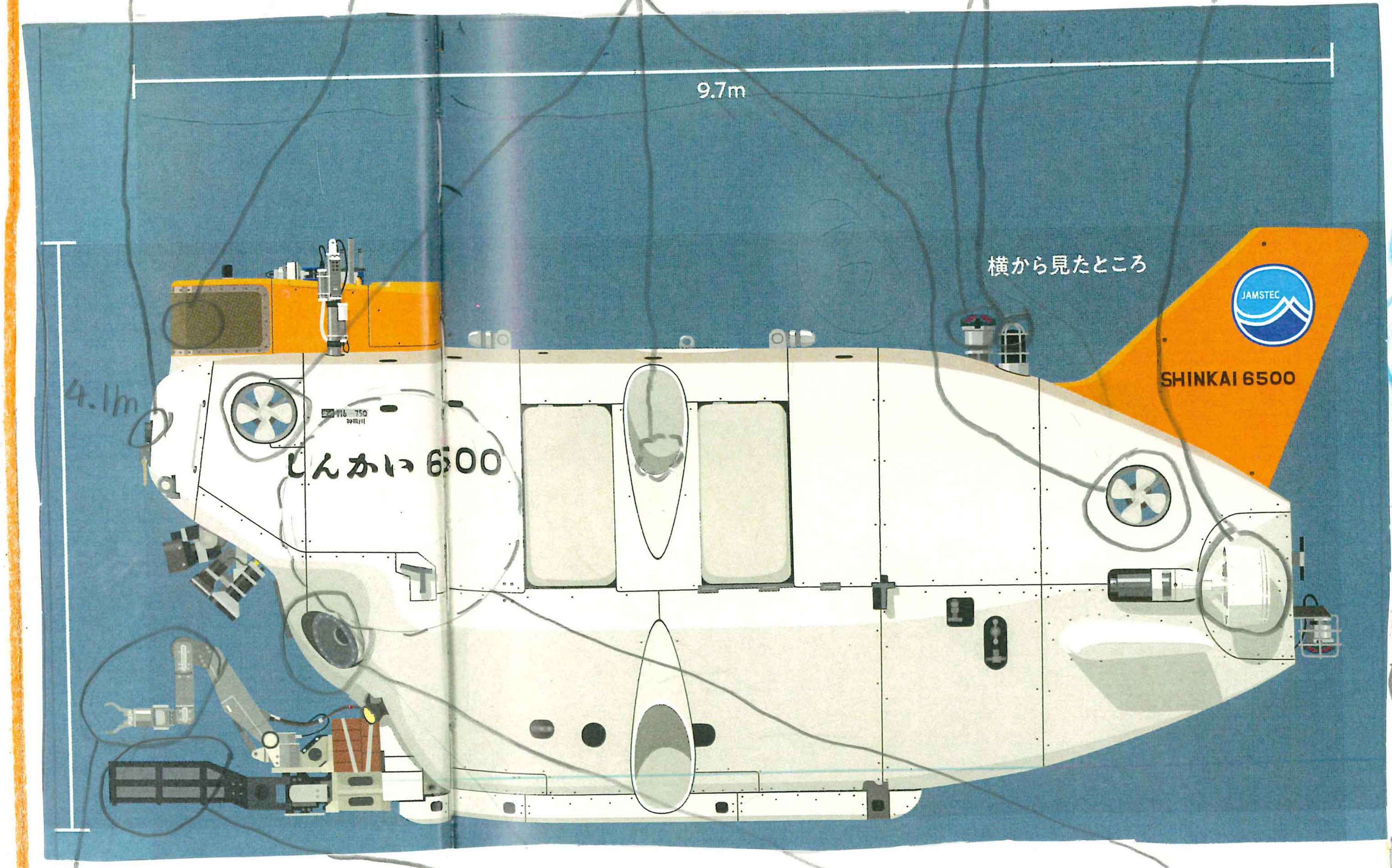
ライト
しんかい海の中をてらす。光はじどう車のヘッドライトが3つから4つぶん。

ソナー
しょうがいぶつをさがす。

スラスタ
海ていでしんかい6500のよこやななめにむきをかえる。

同きピンが
音をはっして母せんにばしょを知らせる。

じゅすいしんき
しんかい6500をすすませる。

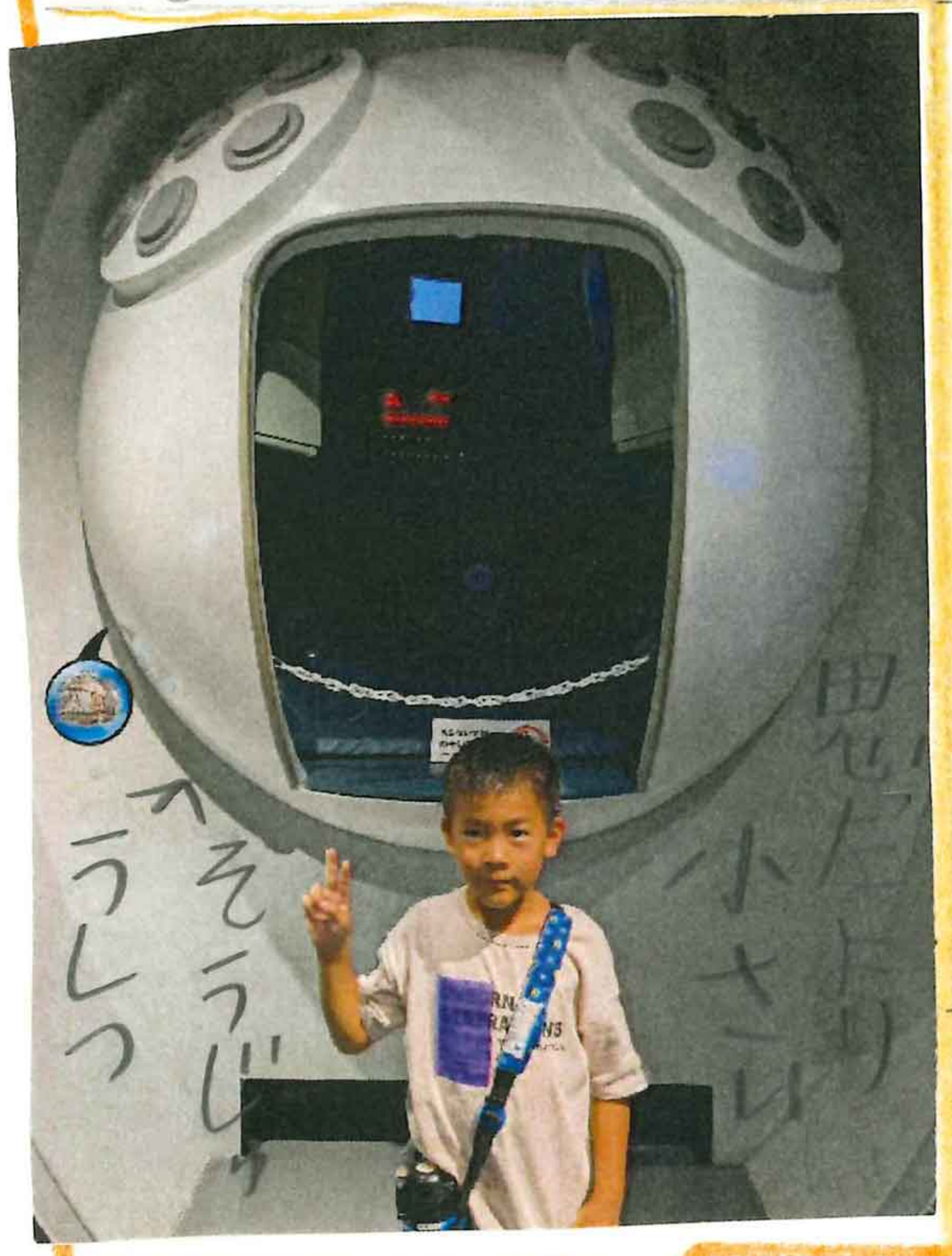

9.7m
4.1m
横から見たところ
しんかい 6500
JAMSTEC
SHINKAI 6500

マニピュレーター
ロボットのうでこれで海ていの岩石などをとりサンプルバスケットに入れてもちかえる。

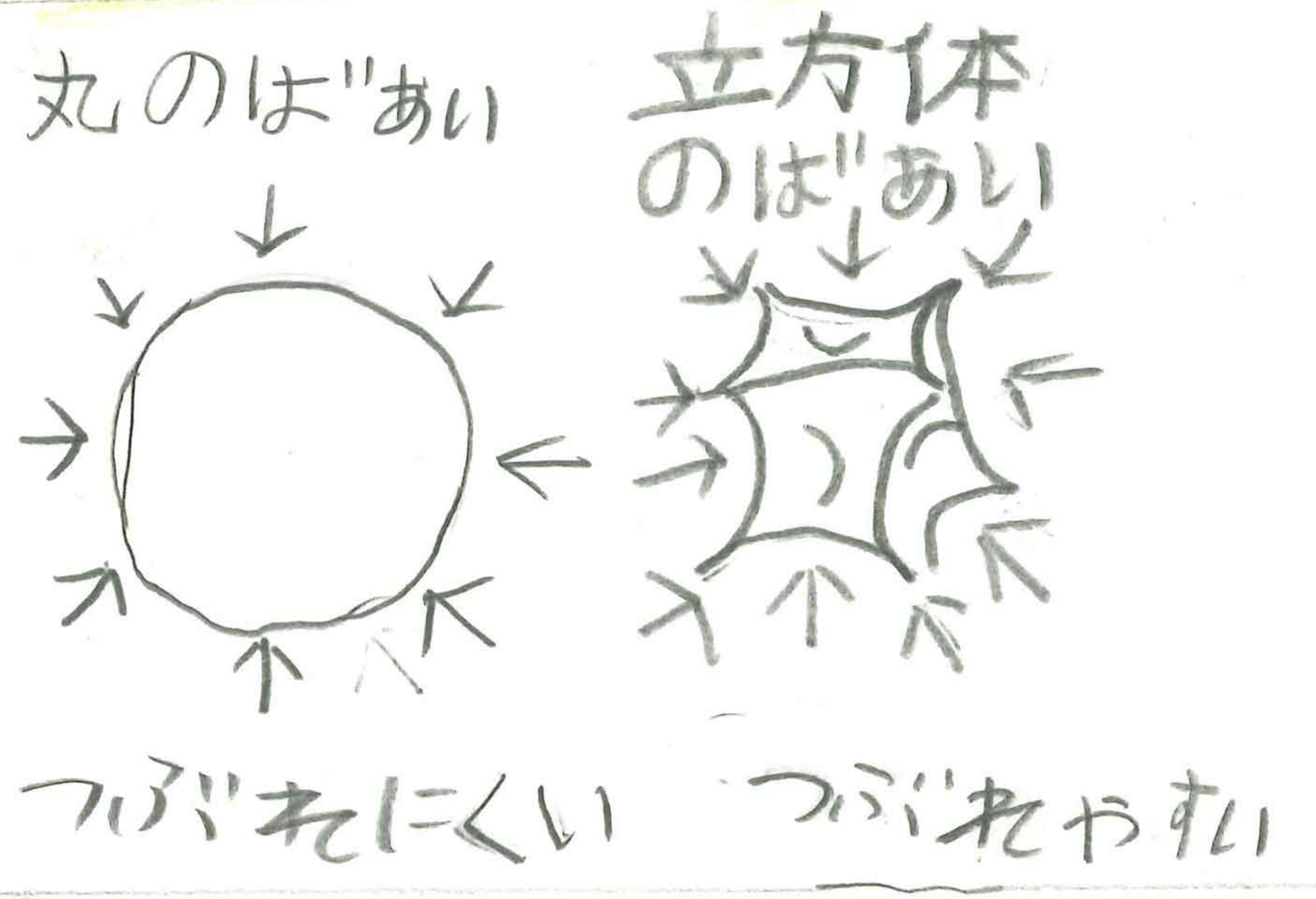
サンプルバスケット
岩石などを入れてもちかえる。

のぞきまど
海ていのそとを見る。

そうじゅうしつ
ちょっけい2メートルの丸いへやになっている。


そうじゅうしつ
思ったより小さい

そうじゅうしつが丸いわけ


丸のばあい
立方体のばあい
つぶれにくい
つぶれやすい

ふかさ6500メートルのしん海ではつめくらいのめんせきにやく680キログラムのあつりょくがかかっている。

ちょっけい 2メートル **ざいしつ** かるくてじょうぶなチタンごう金 **あつさ** 73.5ミリメートル

しんかい6500のデータ

せりん長	9.7m
はば	2.8m
空中でのおもさ	26.7トン
さい大のはやさ	2.7ノット
もぐれるふかさ	6500m
もぐれる時間	8時間
のりくみいん	2人 けんきゅうしゃ 1人

NO.2　しんかい6500のひみつ新聞　2025年11月17日

しんかい6500のかだい

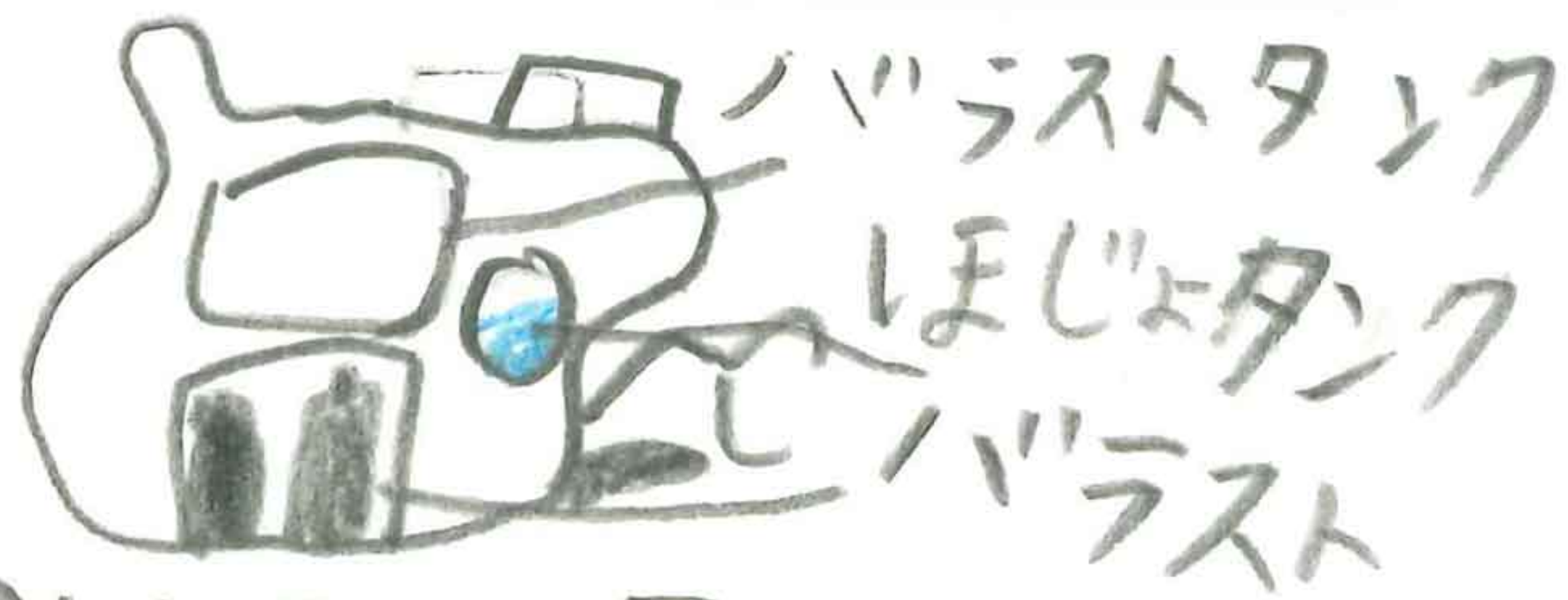
- ふるくなっている。
- 同じものをつくるせつびやぎじゅつがなくなっている。
- ほかの国がしんぽしてきている。

ぼくが考えたしんかい6500のじせだい

- とうめいなせん水せん。
- もぐる時間とうかぶ時間をもっとみじかくしたい。
- 8000メートルもぐれるせんすいせん。

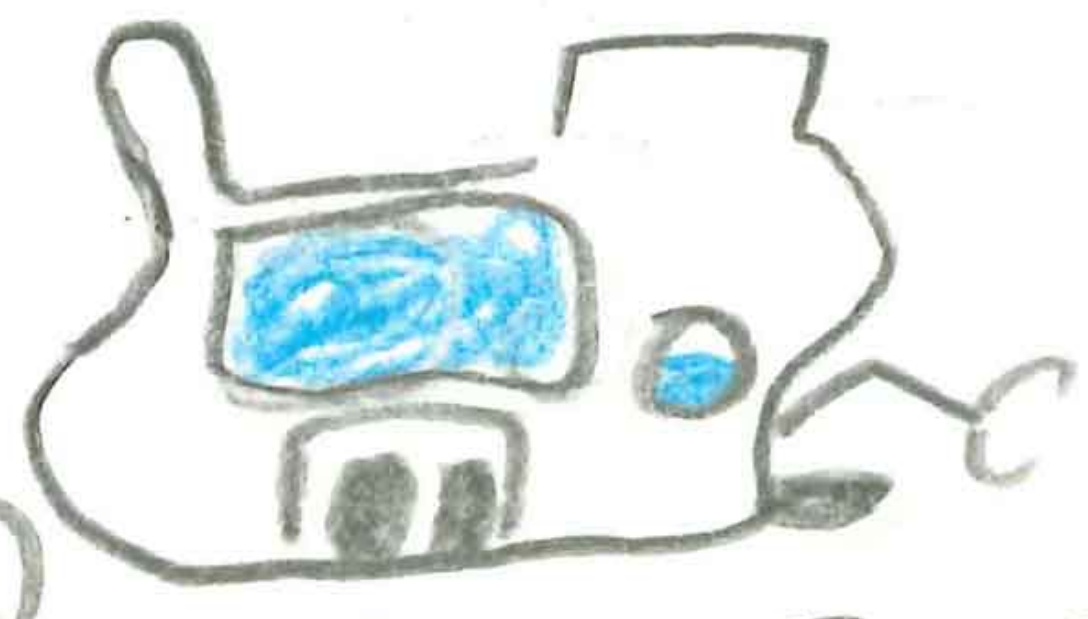
（さん考しりょう）
山本省三（2023）『海を科学するマシンたちしんかい6500深海のひみつをさぐれ！』くもん出版
池田良穂（2015）『はたらく船大図鑑③調査する船』汐文社
山本省三（2012）『すごいぞ！「しんかい6500」地球の中の宇宙、深海を探る』くもん出版
「潜水調査船『しんかい6500』もう作れないって本当？本部の見解は」withnews.2024.7.12（ネットニュース）

もぐり方


バラストタンク
ほじょタンク
バラスト

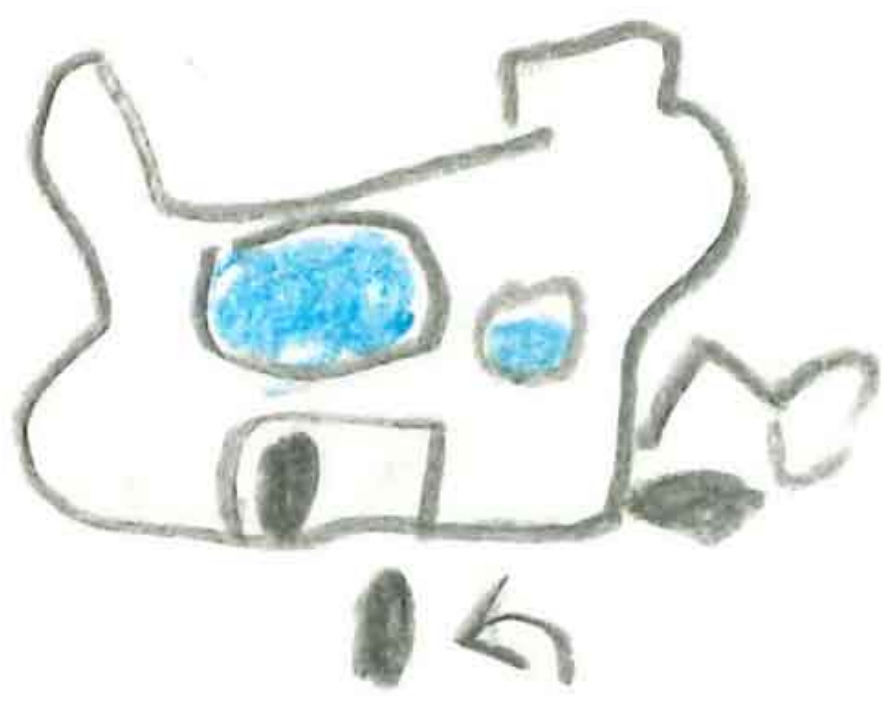
①バラストタンクにはまだ空気が入っている。

↓



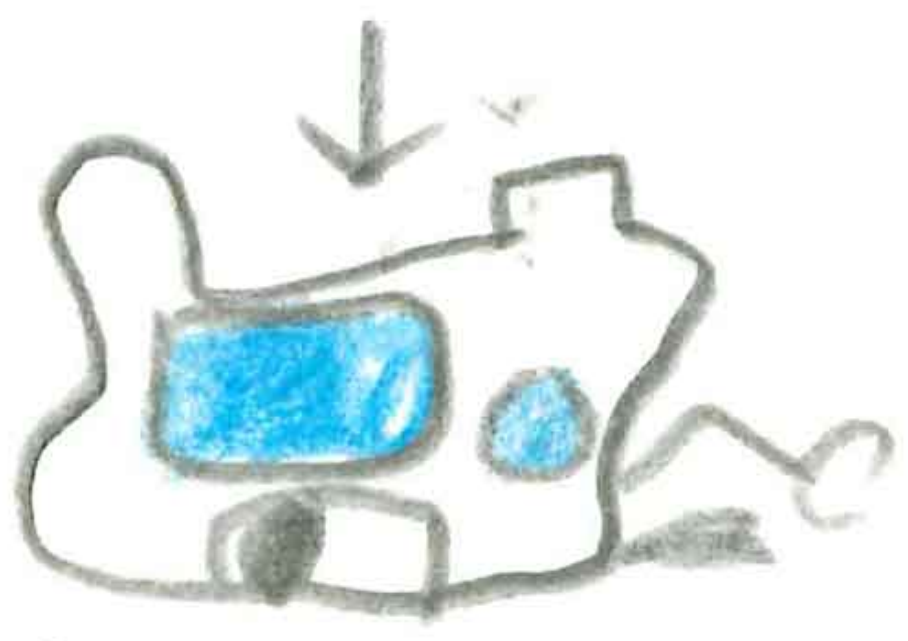
②バラストタンクに水を入れるともぐりはじめる。

↓



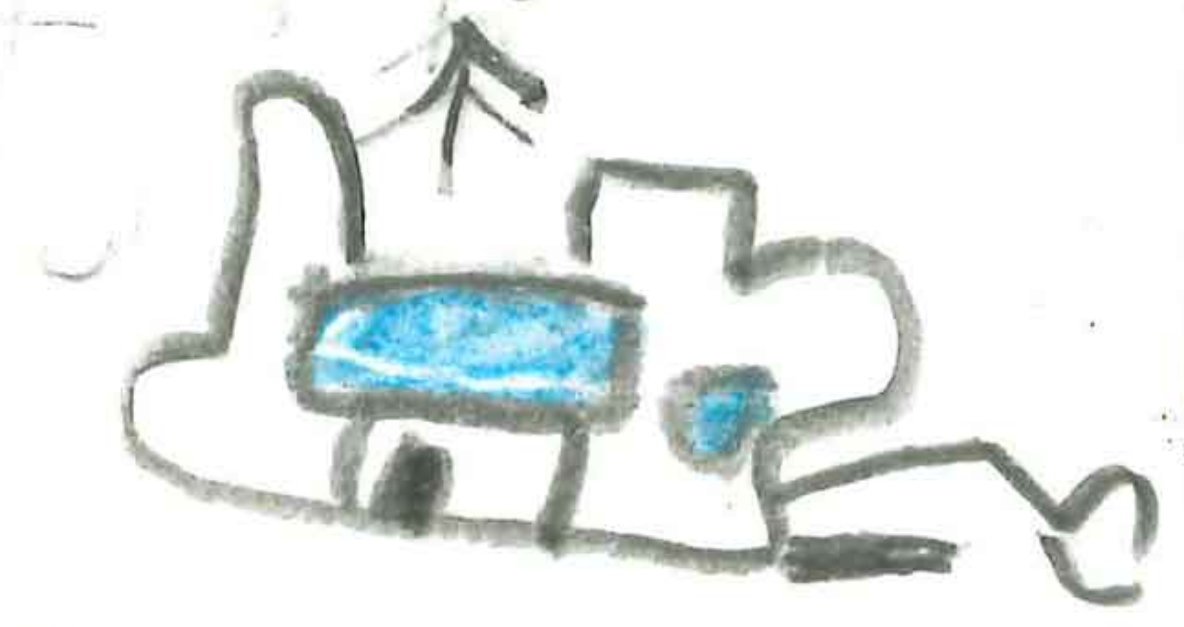
③海ていまで100メートルまで行ったらバラストを半分おろす。

↓

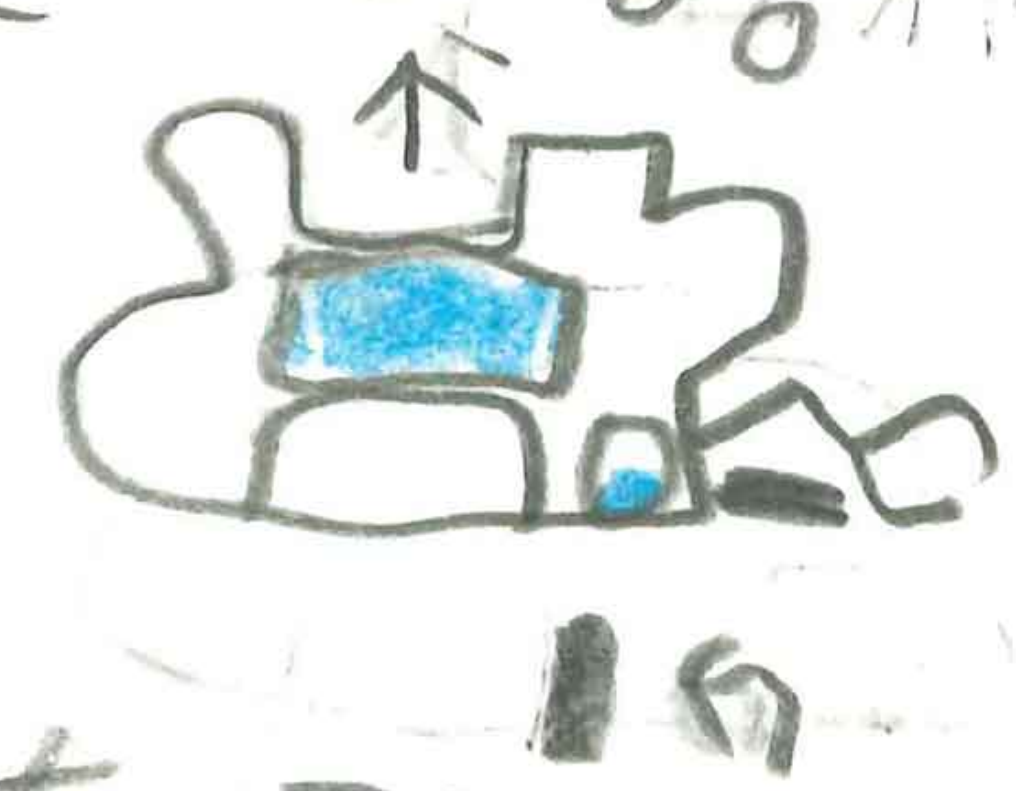


④うきしずみをなくす。→

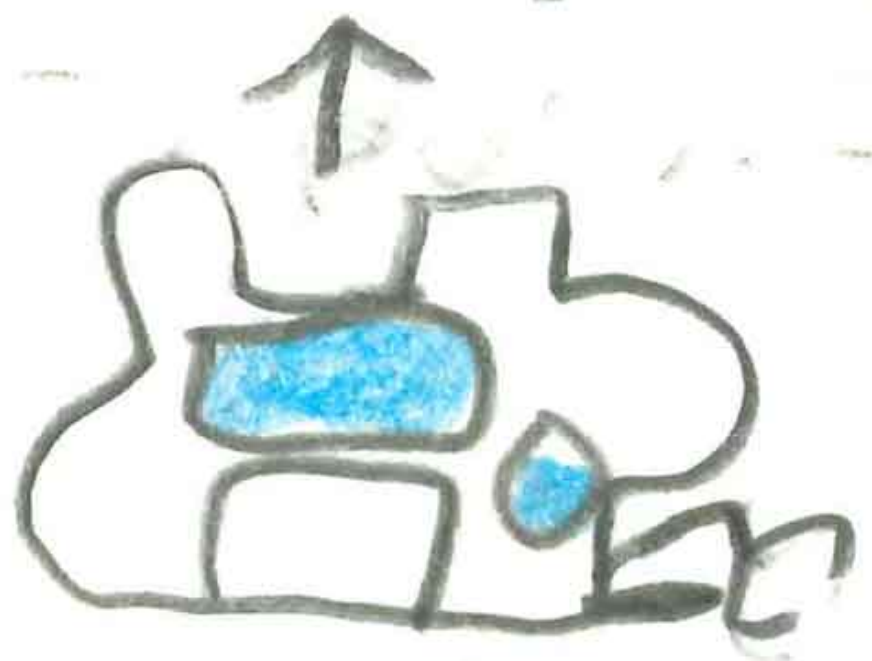
うかび方



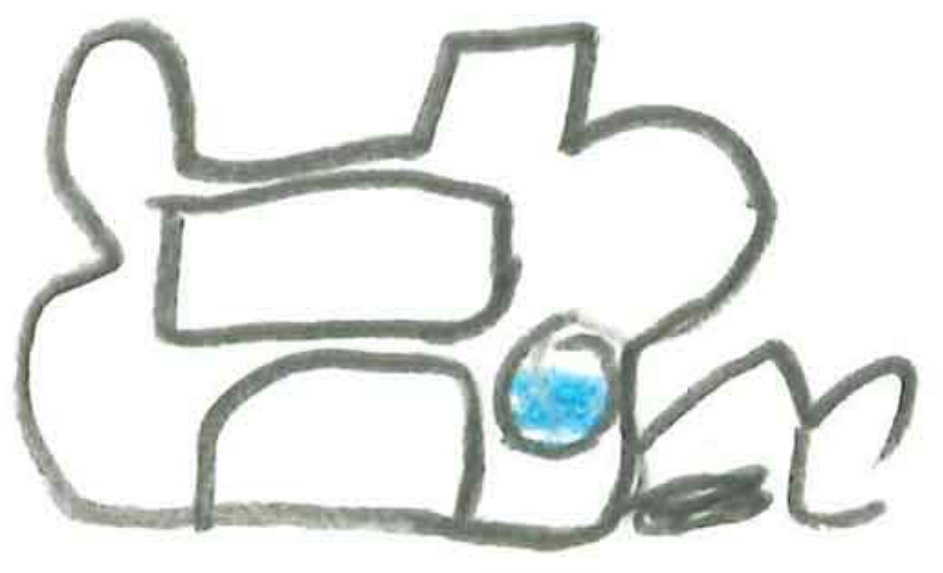
⑤スラスタでゆっくりかいていにちかづく。



⑥ちょうさがおわったらのこりのバラストをせん外におろす。



⑦海めんまでうき上がる。

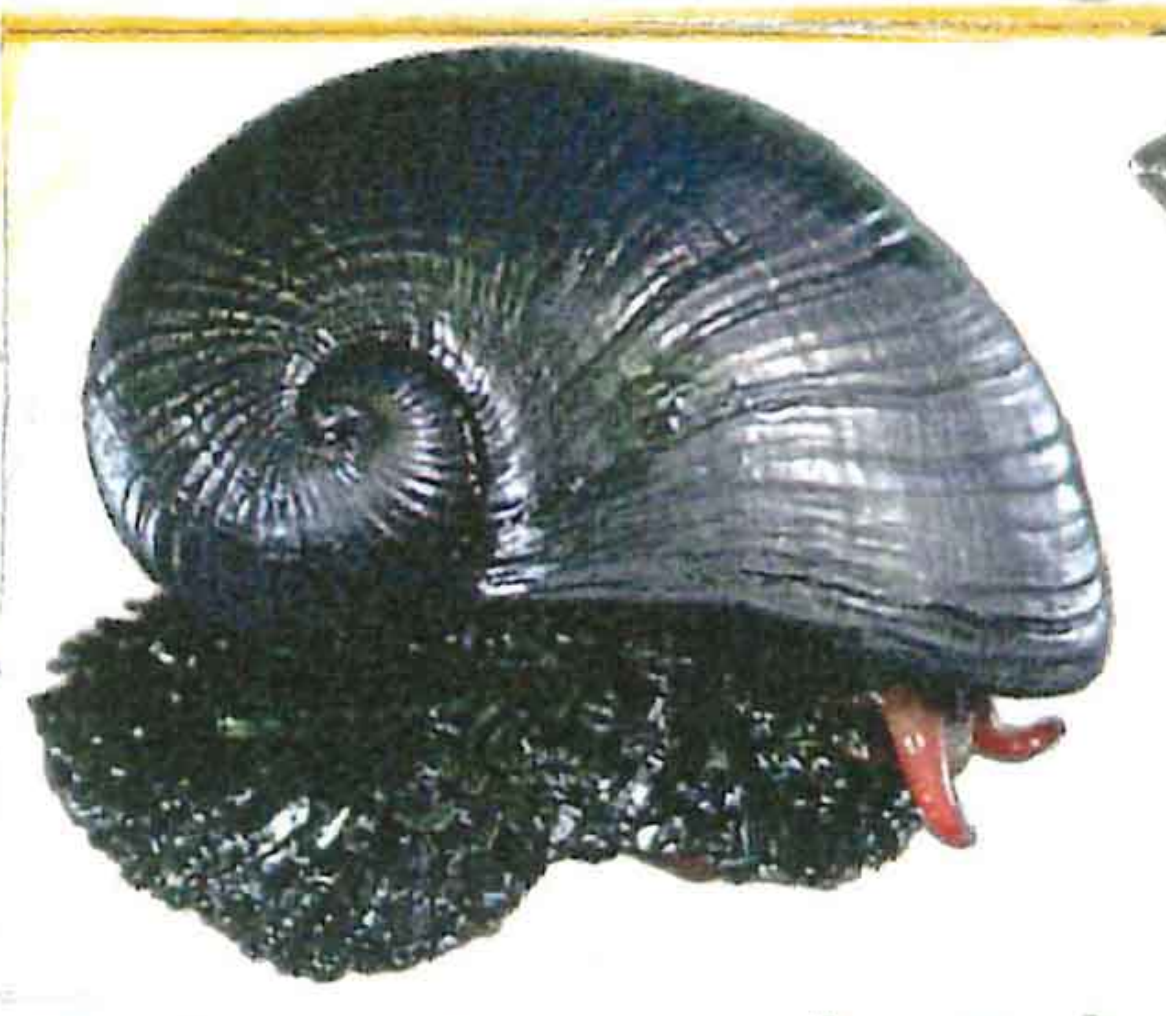


⑧バラストタンクに空気を入れ海上にういていられるようにする。

しんかい6500のはっ見！

スケーリーフットとは？

きんぞくのうろこをつけている。ほかにきんぞくのうろこをつけたまき貝はまだ見つかっていない！！



スケーリーフットのむれ